

## 「温故知新 過去は変えられないが、未来は変えられる」

東大寺福祉療育病院 リハビリテーション部 部長  
奈良県理学療法士連盟 会長  
尾崎文彦

著者連絡先 東大寺福祉療育病院  
所属 リハビリテーション部  
役職 氏名 尾崎文彦  
郵便番号 住所 634-0014 奈良市雑司町 406-1  
TEL: 0742-27-6733  
Email: onyaki@car.ocn.ne.jp

温故知新とは、「論語」為政から、過去の事実を研究し、そこから新しい知識や見解をひらくこと。故（ふる）きを温（たず）ねて新しきを知ると訓読します。（小学館デジタル大辞泉より）

1963年（昭和38年）、国立療養所東京病院附属リハビリテーション学院が開設され、1965年（昭和40年）、理学療法士及び作業療法士法が公布されて、歴史が始まりました。翌年の7月17日に、110名の会員で、日本理学療法士協会が設立されました。しかも第1回の全国学会と全国研修会も開催されました。以降のあゆみや会員数の推移などは日本理学療法士協会のホームページを見ておいてください。

理学療法・理学療法士の50数年の歴史の中で、社会の変化や社会からのニーズ、学問としての変化、対象者の変化、職域の変化、教育機関の変化、職場環境の変化、政治的活動の変化、等いろいろな変化の中で歴史が積み上げられてきました。

そんな歴史の中で、理学療法士としての成長には、一人一人の症例を大切にしていって臨床経験や自己研鑽はもとより、上司や先輩からの教育、多職種と意見交換等、人と人のつながりが重要と考えられます。

しかし、そんな中、新型コロナウイルス感染症という、誰も経験したことのない状況に襲われました。人との交流という重要な要因を制限されてしまいました。

今回の講演では、日本理学療法士協会や奈良県理学療法士協会、日本理学療法士連盟や奈良県理学療法士連盟、私自身の経験など、故きを温ねて、皆さんが、未来を切り開いていくためのヒントや参考の一つになればと考えています。

理学療法士の未来は、理学療法士の力で変えていきましょう。